

# いずみ



## パークゴルフ体験会

# 大田地区自治振興会活動報告

(期間: R4.3月～R5.2月を掲載)

月	日	開催内容	担当	月	日	開催内容	担当
3	1	館報校正、次年度計画	総務企画委員会	9	1	意見交換会	事務局
	2	特別会計監査会	監事・事務局		19	大田婦人学級（ボランティア活動）	事務局
	13	金原田桜除草作業	生活防災委員会		22	異世代間交流事業について	総務企画委員会
	16	次年度事業計画	生活防災委員会		29	大田ふるさと大学（歴史講座）	事務局
	17	次年度事業計画	健康福祉委員会		30	防災研修会について	生活防災委員会
	23	総会開催について	役員会	10	13	パークゴルフ体験会について	健康福祉委員会
4	6	交付金会計監査	監事・事務局		23	パークゴルフ体験会	健康福祉委員会
	13	総会について	役員会		24	異世代間交流（ハルーンアート）	総務企画委員会
	22	R3年度総会（書面議決）	代議員	11	13	金原田桜除草作業	生活防災委員会
5	14	大田婦人学級（料理教室）	事務局		27	大田地区防災研修会	生活防災委員会
	6	11	事業内容について	生活防災委員会	12	8	自治会運営について
24		年間計画、防災アプリについて	役員会	13		市民学校（しめ縄作り）	事務局
27		大田ふるさと大学（歴史講座）	事務局	16		交流館窓ふき清掃	役員会
30		大田婦人学級（農業体験）	事務局	21		市民学校（ミニ門松づくり）	事務局
7	26	大田婦人学級（カローリング）	事務局	1		17	大田婦人学級（デザイン書道）
8	5	大田婦人学級（読み聞かせ）	事務局		31	自治会運営について	役員会
	29	大田婦人学級（車いす体験会）	事務局	2	10	館報いずみ構成作業	総務企画委員会

## 健康で元気に

大田地区自治振興会長

兼 交流館長  
東城 藤吉



新たな年を迎い、早いものでもう三月、皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。今年も皆様と共に健康で元気に過ごせる事を願うものであります。

昨年に続きコロナウイルス第八波が猛威を振るう幕開けとなりましたが時間の経過と共になんとか落ち着きを取り戻し、政府では五月の連休明けをめぐりに五類に引き下げを検討しており、先が見えてきたようで、元通りの生活に戻れる事に期待をするものであります。

とは言え、県内の二月迄の累計ではコロナで亡くなられた方が、八百人余、感染者が三十九万五千人余と多くの方が被害に遭われており、いっどこで何が起るかわからない昨今であり、健康でいることのありがたさがしみじみ身に染みて感じております。

健康と元気をひも解いて見ると、「健康とは身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態である事」また「元気とは活動となる気力、心身の活動の力」と定義されております。医科大学の教授によると、「体温を一度上げることにより免疫力がグンと高まり病気やウイルスに打ち勝つ体になる」とのことです。

昔の平均体温は二十七度、現在は三十六度前後だそうです。その理由はエアコンやストレスなど、現代社会の生活環境が大きく影響していると言えるでしょう。

体温を一度上げるには、運動により筋肉量を増やす。普段の生活では湯たんぽも有効だそうです。太ももを温めることにより血流が良くなり体温が上がり改善されるそうです、ぜひ試してみたらいかがでしょうか。

自治振興会もお陰様で大過なく年度末を迎えることが出来ました、今年はコロナも落ち着き、飛躍の年にして参りたいと思います。

皆様におかれましては飛躍の年になります様ご祈念申し上げます。

## パークゴルフを通じ

大田地区自治振興会

健康福祉委員長

安田 由郎

令和4年10月23日(日) 令和4年度の事業計画である「パークゴルフ体験会」を原総合公園内の伊達市パークゴルフ場において、男性8名女性10名の参加を頂き開催しました。

当日朝、空は黒い雲に覆われ実施が心配されましたが、午前9時の開催時刻には最高のコンディションとなりました。参加者の中には何度も経験されている方も多く、早速コースを回られている方もおりました。

初心者にはチーム毎に指導員の方が付きルールの説明やクラブの持ち方、ボールの打ち方などを教えて頂きスタートしました。



練習場で基礎を学んでから

練習後コースを回りながらもプレー中の注意点や他の競技者へのマナー等を教えて頂きました。

初心者という事でボールの芯をとらえることは簡単ではなく、勢いよくクラブを振れども転がったボールは3m先!顔を赤らめながら「次こそは次こそ」と打数を重ねます。

右往左往しながらも楽しくコースを回ることができ有意義な体験会となりました。



閉会式後には「ずっとパークゴルフをやってみたいと思っていただけ、これをきっかけに今後は自分たちだけで来られます」と言う声も聞こえました。

少しでもそんな方々が増えるお手伝いと交流ができたことをうれしく思います。

パークゴルフは1983年(昭和58年)北海道の幕別町で公園の芝生で始めた遊びのためパークゴルフと名づけられたそうです。

現在は60歳、70歳代の方が8割強を占めています。地域によっては学校内や病院内にコースを作り、子供たちとのコミュニケーションの場や患者さんのリハビリとして役立てられています。

パークゴルフのルールは、ゴルフと類似しておりますがクラブは1本、ペナルティは全て2打加算、空振りには打数に数えない等、シンプルで気軽に楽しめるスポーツです。

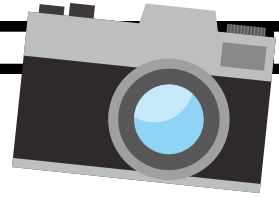
伊達市パークゴルフ場は4コース36ホールあり、それぞれのコースには「ももコース」や「りんどうコース」等、伊達市にゆかりある名称がつけられています。1コース約400m36ホールありますので総距離は1,524mと結構な運動になり、運動不足やストレスの解消にもなりますので、是非一度体験してみたいかがでしょうか。

今後も地域住民との交流の場としてイベントを企画したいと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。



# 金原田 名もなき桜 フォトコン・名称募集について



金原田入ノ内地区の地域住民の手で大切に守られてきた1本桜の写真と名称の募集をいたします。下記の内容をご覧ください、**別紙応募用紙にご記入の上**、ご応募ください。参加していただいた作品は大田地区交流館に展示させていただきます。



撮影 R3年4月2日 遠藤 英次 さん

## フォトコンテストについて

1人3点まで サイズ(A4もしくは2Lでの応募)  
応募締切 令和5年5月末日  
応募条件 大田地区在住者、勤務者に限る  
最優秀賞…… 商品券5000円  
優秀賞…… 商品券3000円  
佳作…… 商品券2000円(各1点)

展示後に審査会を6月に実施し各賞を決定いたします。

受賞の方には個別にご連絡を差し上げます。(返却は展示終了後となります)  
たくさんの応募をお待ちしています。

大田地区自治振興会  
生活防災委員会

## 名称募集について

1人1点まで  
応募締切 令和5年5月末日  
応募条件 大田地区在住者、勤務者に限る  
優秀賞…… 商品券5000円 1名

## 活動を終えるにあたり

大田婦人会長 長谷川 弘子

終戦直後の昭和21年、故石井ミエ様を会長として「婦人の地位向上と明るい地域づくりを推進しよう」との目的で、大田村婦人会が発足しました。

昭和30年の町村合併で現在の名称「大田地区婦人会」となり、現在に至っています。今まで、婦人会が大田地区にとって無くてはならない存在、頼られる存在になれたのも歴代の会長さん始め諸先輩の方々のご活躍、ご苦勞があつた賜と深く感謝申し上げます。

しかしこの度、時代の流れには逆らえず、令和5年4月1日開催の総会をもちまして、77年の活動の歴史に終止符を打つことに至りました。



諸先輩が築き繋げて来た歴史を無くして良いのか、悩みました。

年号が平成に変わった頃から男女共同参画社会に入り、時代の様相は変化。大田地区においても、核家族が増え、女性の就業率が上昇、多様な生き方が選択できるようになりました。

その流れに沿うように、近年は地区婦人会から「企画員のなり手がいないので活動を終ります。」との申し出が多くなり、婦人会の根幹が揺らいできていたのが現状です。

この事を鑑みて、発足時の「婦人の地位向上」の目的は十分に達成したと受け止め、解散の決断をした次第です。

大田地区自治振興会様始め、関連団体の方々には多大なるご指導、ご支援を賜りましたこと厚く御礼を申し上げます。また、元会員の皆様、109名の現会員の皆様、そして大田地区のすべての皆様、大田婦人会の活動を今まで温かい目で見守り、応援をして頂き、誠にありがとうございました。

いつの日か、「女性会」に出会えるまで、皆様の記憶の片隅に「婦人会があつたな」と残っていて欲しい：と、願っております。

### 大田婦人会歴代会長

代	氏名	区	在任期間
1	石井 ミエ 様	二井田	S21 ~ 35
2	荒 智恵 様	金原田	S36 ~ 41
3	藤原 ハツイ 様	大立目	S42 ~ 45
4	渡部 ヨシ 様	大 泉	S46 ~ 47
5	舟山 サキ子 様	二井田	S48 ~ 51
6	齋藤 タマ 様	大立目	S52 ~ 53
7	東城 宮 様	大 泉	S54 ~ 56
8	大橋 ヨシ 様	金原田	S57 ~ 60
9	畑 幸子 様	金原田	S61 ~ H3
10	遠藤 ハル 様	二井田	H4 ~ 11
11	安田 恭子 様	大立目	H12 ~ 17
12	福地 アイ子 様	二井田	H18 ~ 25
13	長谷川 弘子	大 泉	H26 ~ R4



研修旅行 平成19年10月皇居にて

## 伊達地区交通安全 子ども自転車大会

令和4年6月4日(土) 大田小校庭を会場に3年ぶりに復活しました。6年生「北郷一輝君、渡邊要吹君、佐藤春輝君、伊藤琉翔君、熊田彬人君」の5名が大田小学校の代表者として参加しました。

4月下旬から大会前まで毎日のように練習を行ってきました。

体育館には交通安全協会の方々を作った手作りの障害物が多くあります。

円柱を等間隔に配置してジグザグ運転の練習や角材ハシゴのように並べた道具はガタガタ道を再現、歴代の自転車大会へ参加した児童も使っていたものです。

昨年の5月は真夏のような暑さが続き、指導する交通安全協会の方々も本場に大変でした。



練習時間が限られていた為、指導にもかなり熱が入りました。

本番前にはコースを想定したグリーンのシートが運び込まれその上を試走。校庭では大会とほぼ一緒のコースでの走行も行いました。熱心な交通安全協会の方々の指導もと、伊達



技能走行の練習



安全走行の様子

市の大会では見事優勝を手にした児童5人でしたが、県大会は未だくすぶるコロナのせいで開催中止となっていました。暑い中での練習でしたが、地区優勝ができた事は子供たちと交安協の努力があったからこそです。



交通安全協会大田分会の皆さん、児童の皆さんお疲れさまでした。

右から  
北郷一輝 君  
渡邊要吹 君  
佐藤春輝 君  
伊藤琉翔 君  
熊田彬人 君

地域の為に活躍され表彰を受けた方々をご紹介します。

### 伊達市自治功労表彰

永年行政推進員として市政の進展に貢献され表彰されました。

大泉 高橋 武さん



### 伊達市社会功労表彰

多年にわたり民生委員・児童委員として活動し市政の進展に貢献され表彰されました。

大泉 菊田 芳二さん



二井田 森藤 俊子さん



金原田 木戸 純子さん



### 防犯功労表彰

永年大泉区長としての立場で地域住民を指導し、防犯意識の啓発をしたことで表彰されました。

大泉 菅野 忠司さん



# 生涯学習事業

年間を通して  
様々な講座を行いました



12月しめ縄づくり

## 市民学校



12月ミニ門松づくり



歴史講座 教育者  
6月「菅野大弐」

## ふるさと大学



歴史講座 宰相夫人  
9月「石橋 うめ」



10月プリザーブドフラワー



9月ボランティア活動



6月農業体験(ぶどう)

## 婦人学級



1月デザイン書道



11月料理教室(ミートローフ)



8月車いす体験

現在も大好きな野菜作りと編み物は欠かせません。今まで病気もせず健康でこられたので、今後も家族と共に穏やかに過ごして行きます。



菅野クニキさん  
(大泉 菖蒲沢)  
大正12年2月17日生100歳

## 大田の百寿 今年百歳を迎えられた方をご紹介します

### 交通安全子ども自転車大会

団体の部優勝 大田小学校

●個人の部

第1位 北郷一輝君

第2位 渡邊要吹君

第3位 佐藤春輝君

(顔写真は6ページ)

### 産業経済功労表彰

永年、商工会役員として振興に貢献され表彰されました。

大泉 加藤 義雄さん



# 祝 20 歳

令和5年 成人の集い対象者  
平成 14年 4月2日～平成 15年 4月1日生

## ※ 平成 20 年度大田小学校入学式 ※



千葉未侑奈 佐藤英子先生  
大河内智哉  
菅野冬真 国分愛瑠  
福地美幸  
橋内周作 福地美幸  
齋藤結衣 佐藤花楓  
野崎雅乃 遠藤大智  
大槻駿斗 幕田陽己  
鈴木佑奈  
福地弘一郎 鈴木佑奈  
舟山芽生  
大友校長

菅野乃惠琉 菅野京子先生  
山崎紗也  
鈴木悠太 菱沼瑞葉  
熊田龍也 山本大智  
大橋桜華 中村朋美  
寺島龍一 菅野隼斗  
齋藤美海 佐々木太輝  
石神彩野 藤原拓海  
佐藤奈緒美  
大友校長

## ※ 平成 26 年度大田小学校卒業式 ※



菅野乃惠琉 石神彩野  
大橋桜華 千葉未侑奈  
佐藤花楓 山崎紗也 佐藤菜緒美  
齋藤美海 野崎雅乃 舟山芽生  
原 美波 国分愛瑠 鈴木佑奈  
齋藤結衣 福地美幸 中村朋美  
猪又彩花 佐藤幸子先生  
山本大智 幕田陽己 亀岡校長  
森藤岳洋 遠藤大智 福地弘一郎  
橋内周作 熊田龍也 藤原拓海  
菅野冬真 寺島龍一 佐々木太輝  
大河内智哉 鈴木悠太 菅野隼斗  
及川航平



# 20歳おめでとうございます!



スーツ姿も決まっていた!



みずほ・大泉地区



艶やかな着物姿です!



二井田・金原田・大立目地区



桃陵中の仲間たちと

# 悲しみと共に生きる

円福寺 住職

石井 祐晃



私は、二井田にある円福寺の住職を務める傍ら、東北大学大学院の院生として「死生学」という比較的新しい分野の研究を行っています。20代で住職となる人は少ないのですが、認知度の低い死生学を専攻しているとなると、余計に珍しい人間かもしれません。

死生学は20世紀後半に生まれた学問であり、端的にまとめると「死に関連する物事を扱うことで、生きることを見つめる学問」です。例えば、死者、脳死、ホスピス、尊厳死、緩和医療、自死、死生観などが取り上げられます。重苦しい雰囲気があることは否めませんが、その分だけ、意義深い分野です。

中でも私が専門としているのは「悲嘆」と「逆境から立ち直る力」です。紙幅が限られているので、悲嘆について説明します。

人生において、一度も悲しい気持ちにならなかったことがない人は、存在しないでしょう。それくらい身近な気持ちだが、悲嘆です。いまさら研究する必要があるのか、疑問に思うかもしれません。しかし、実際のところ、悲嘆は不思議に満ちています。

パートナーと死別した男性を対象としたある研

究では、死別から6ヶ月以内において、死亡率が高まり、心疾患が報告されたそうです。これを「ブロークンハート・シンドローム」と呼ぶこともありましたが。直訳すると、「破れた心の症候群」となります。つまり、「胸が張り裂けそうだ」という表現は、まさに言い得て妙なのです。また、17世紀のイギリスの研究報告書には、死因の一つに「悲嘆」と記載されています。悲しい気持ちは人生にありふれたものですが、軽視するといのちに関わるような、重要な感情です。

私たちは、熱があれば、解熱剤を飲みます。腰痛がひどい時は、鎮痛剤を飲みます。痛みは取り除くことが一般的ですが、悲嘆の苦しさは異なります。

日本の哲学者、西田幾多郎は幼い娘を亡くしています。その親の心情として「この悲は苦痛といえば誠に苦痛であろう、しかし親はこの苦痛の去ることを欲せぬのである」と記しています。悲嘆は苦しいものの、消えてほしくない。悲嘆は、娘の存在証明でもある。人間味溢れる一面が、悲嘆には宿っています。

悲嘆が研究対象として注目される理由を、実感できましたでしょうか。客観的に物事を見る合理的な人間が評価される現代社会ですが、悲嘆に直面した時、主観的で非合理的な、より人間らしい側面が重要になるのではないかと考えています。

若くして住職となりました。円福寺の維持のみならず、葬儀にも深く関わらせてもらっています。その中で目の当たりにするのが、人の心です。死

別した大切な方と向き合う、切ない表情。故人との思い出を語る際の笑顔と、声の震え。学問を追求することで、一挙手一投足の重みを感じられるようになりました。その想いを背負い、故人に引導を渡す住職としての役目は、使命を持って果たす所存です。ただ、重責と重圧に耐えられる器かどうか怪しいところですが、周囲の支えを頼りに、全うしていきます。

もちろん、悲しみだけが人生ではありません。楽しむことができれば、幸せであれば、それもまた良い人生です。円福寺では、年末にプロジェクトを導入するなど、時代の流れを踏まえつつ、楽しんでもらえるような取り組みも行っております。お寺となると、どうしても死のイメージが拭えませんが、あくまで「よく生きること」に焦点を当てて活動していきたいと考えています。





大泉 道城場  
鈴木 宏さん (86歳)  
裕子さん (82歳)  
S42年5月結婚  
(今年で55周年)  
お子さん 2人  
お孫さん 3人

健康の秘訣は

宏さん

◆「美味しい」の一言で心身共に健康を保ちます

裕子さん

♥若い時から現在まで継続している自彊術です

仲良しの秘訣は

◆相応の立場を理解し「人」という字のように支えあう事を日々、肝に銘じて

♥互いを思いやりユーモア&ナンセンスを交えます

長く連れ添い思う事は

◆今日まで誠の心に感謝し、携えてこられたことにありがとう

♥今後も尊敬の念を大切にし川の流れるように

奥さまへ

◆良妻賢母と言わせていただきましょ

旦那様へ

♥これからも焦らず健康管理に留意して、私からもありがとう

～仲良しご夫婦～



二井田 後原  
佐藤 勝治さん (83歳)  
ヨシ子さん (82歳)  
S38年10月6日結婚  
(今年で60周年)  
お子さん 1人  
お孫さん 2人

健康の秘訣は

勝治さん

◆歯の定期健診、年相応の運動とよくよしない事

ヨシ子さん

♥食べたいものを料理して食べる事

仲良しの秘訣は

◆共通の趣味を楽しみ、出来る限り一緒に行動をする

♥お互いのわがままを、少しずつ我慢する事

長く連れ添い思う事は

◆あつという間の60年、妻の支えが最高、感謝しています

♥支えてくれてありがとう。これからもよろしくお願ひ致します

奥さまへ

◆仕事人間で苦労かけました。これから先も元気に楽しく生活ができるように支えます今までありがとう

旦那様へ

♥今の生活が長く続くように2人で頑張っていくましょ

卯年今年にかける(年男・年女)



大泉  
平井 二郎さん  
(昭和26年12月26日生)

令和5年を迎え、時が過ぎるのは早いもので気づけば、はや72歳を迎える年となりました。

これまでの長い人生、仕事に私生活様々な困難に直面した時、家族の協力があり何とか乗り越えてこられたのかと感じます。

気持ちはいつまで経っても若い頃のままです。今後も楽しく充実した人生を歩んでいこうかと思う次第です。



みずほ  
松野 藍さん  
(昭和62年2月4日生)

私事ではありますが、16年勤めた職場を3月で退職致します。

結婚、妊娠、出産と一大イベントを経て今に至るわけですが、仕事の事、家庭の事、思い返せば良い事、そうではなかった事：様々な事が蘇って参ります。

歳を重ねていく毎に、新しい環境に飛び込むというのは、とても勇気がいる事ではありますが、しっかりと自分自身と向き合い、大切な事を見極めながら、今は家族との時間を一番に考え日々を過ごして、精一杯今年を駆けたいと思っております。

## ご遺志

次の方々より多大なご遺志を賜りました。  
厚く御礼申し上げます。

小林繁幸	御母堂	キン
安田智浩	御尊父	善也
大山富夫	御母堂	キク
秋葉芳吉	御令室	よね子
長沢信夫	御尊父	一男
長谷川剛	御母堂	アイ子
福地雅弘	御母堂	正巳
舟山勇	御尊父	時男
鈴木博之	御尊父	畠
津田康博	御尊父	伊博
菅野英雄	御母堂	高橋忠三郎
高野朋子	御尊父	富美
福地弘一	御母堂	忠志
唯野加代子	御令弟	吉田
畑静男	御令室	玲子
木戸政勝	御令弟	利明
佐藤博美	御母堂	ソデ
安田守	御母堂	勝男
山本学	御尊父	アキ
長澤登喜雄	御母堂	イト
原明	御母堂	義正
大橋真一	御尊父	春雄
齋藤直宏	御祖父	勝男
佐藤正幸	御尊父	久子
引地一	御母堂	浩次
森藤秀明	御尊父	ツヤ
舟山正次	御母堂	

令和4年3月3日～令和5年2月23日受領分

## 令和4年度大田地区交流館特別会計決算書

収入総額 3,495,594 円  
支出総額 175,600 円  
差引残高 3,319,994 円 (次年度繰越)

### 収入の部 (単位:円)

項目	決算額	付記
繰越金	2,945,567	前年度繰越金
寄付金	550,000	ご遺志 28 件
雑収入	27	貯金利子他
合計	3,495,594	

### 支出の部 (単位:円)

項目	決算額	付記
慶弔費	128,000	香典 26 件
需用費	39,600	新聞代購読料
交際費	8,000	総会祝他
合計	175,600	

上記のとおり報告いたします。

大田地区自治振興会  
東城 藤吉

上記決算書は、貯金通帳・現金出納簿・領収書等証拠書類と照合の結果適正であり相違ない事を認めます。

会計監査

森藤 哲良  
遠藤 辰一